

2021年1月4日

報道関係各位

一般社団法人日本少額短期保険協会
東京都中央区八丁堀三丁目12番8号
会長 渡邊 圭介

日本少額短期保険協会 2021年 年頭所感

2021年を迎えるにあたり、皆様には謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、年明けから新型コロナウイルス感染症が拡大し、今なお終息の兆しが見えず多くの国民の皆様が困難な状況に直面されています。

感染された皆様やそのご家族、不安を抱えられた皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。先行きが不透明な中、私的保障の提供によって国民の皆様の生活を支え、安心をお届けする保険事業者の果たすべき役割はますます大きくなっていると認識を新たにしております。

少額短期保険業界は、2006年の保険業法改正により誕生し、本年は15年の節目の年にあたります。収入保険料も1,000億円台の業界規模にまで成長いたしました。

直近、2020年9月の業界全体の間接決算でも、コロナ禍にあっても、引き続き収入保険料前年比で10%の成長を実現出来たことは、お客さまに寄り添った活動や商品開発を高く評価いただいたものと厚く御礼を申し上げます。

我々は、これまでと同様、今後もお客様のため、社会のため以下のとおり取組みを進めてまいりますので、何卒ご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

—お客様とともに歩む（中期3か年計画）—

本年は、少額短期保険業界が「よりお客様に身近で役に立つ業界として発展していく」ために策定した中期3か年計画の最終年となります。この中で掲げた「3つのビジョン」を着実に実現することで、より一層お客様の期待にお応えしてまいりたいと考えております。

<3つのビジョン>

1. ガバナンス・コンプライアンスの更なる強化により、お客様に一層信頼される業界になる
2. マーケットニーズに合致した商品提供により、お客様に一層認知され支持される業界になる
3. お客様の利便性向上に向けて少短業界のあるべき姿に係る提言を発信するとともに、会員各社がいきいきと円滑に業務を遂行できる仕組みを構築する

—社会とともに歩む（社会貢献活動）—

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から本年は10年目となります。当協会では震災直後に震災孤児・遺児進学支援の観点から「毎年100万円を10年間寄附する」ことを決め、これを継続してまいりました。

また、コロナ禍での自殺者増加が報道される中、当協会では2015年から毎年「孤独死現状レポート」を作成するとともに「孤独死対策サミット」を開催することで孤独死の実態分析と社会への提言を継続しており、この問題に対する社会的な関心の醸成に寄与してまいりました。

我々は、今後もこれら社会貢献活動の重要性を認識し一層の取組みを推進してまいりたいと考えております。

不安な時代だからこそ、我々は社会インフラの一つとしての使命を認識し、皆様に身近で役に立つ存在となるよう取組んでまいりますので、今後とも一層のご支援とご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染症の早期終息と国民の皆様の安寧を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

<本件に関するお問い合わせ>

日本少額短期保険協会： 杉本／岡崎
TEL：03-6222-4422 FAX：03-3297-0755
E-mail：info@shougakutanki.org